

印刷屋さん

Vol. 13

2010.1.15

発行/㈱工陽社 塩釜市尾島町8-7
TEL022-365-1151 FAX364-9965
URL:<http://www.kohyohsha.com/>

新年明けまして
おめでとうございます。

平成22年 元旦

昨年中は弊社をご愛顧下さいまして誠に有難うございました。

さて、“お役立ちコミュニケーション情報誌”は皆様のお役に立っていますでしょうか。

日々の暮らし・健康・レジャー・地域行事等の情報を今後もタイムリーにお送りしたいと思っております。

本年が全てのお客様にとって素晴らしい一年となる為の一助として、会社全体で臆する事無く、新しい物に取り組み、皆様にお届けしたいと思います。

本年も昨年同様ご愛顧下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

代表取締役 鈴木ヨシ子



このコーナーでは弊社へご発注頂いたオンデマンド印刷の実際・又はご提案させて頂く事例をご紹介します。

仙台フェニックス様 創立20周年記念誌

2009年11月完成。当初、予算が少ない中、オールカラーで印刷したいが部数も少ないとの事。

そこで、ご提案させて頂いたのが、オンデマンド印刷。お客様でデータを作製して頂き、少し体裁を整えてそのまま印刷・製本。手作り感もバッチリです。



お客様の声

まず、カラー写真のキレイさが印刷のみ、それ以上でしたね。当方のデータも体裁を整えて頂き、助かりました。記念誌の顔、表紙のデザインもお願いしたのですが、大変満足のいく出来でした。

お客様のご理解を得て実物をご覧頂けますので、当社営業までお申しつけください。

新春!! 印刷屋さんまちがいがし

印刷屋さんの仲間たちがお正月に浮かれています。下のイラストをよく見比べてください。10ヶの間違ひがあります。お正月ボケは大丈夫ですか?これで脳トレにはならないでしょうかね!? 10個見つけた方は自分で自分にご褒美をあげてください。答えはホームページをみてくださいね!



印刷屋さん豆知識

パート4

最近パソコンの普及により年賀状もご家庭でお手製の「カラー印刷」をされる方が年々増えてきています。デジタルカメラで撮影したものを入れ込んだり、プロ顔負けの発想の年賀状もあつたりと、毎年の楽しみでもありますね。

そこで、ちょっとだけ「色」についてお話してみたいと思います。

皆さんがよく目にするテレビのブラウン管（CRT）や液晶ディスプレイ（LCD）、デジタルカメラなどで画像再現に使われているのは「光の三原色」といい、赤（Red）、緑（Green）、青（Blue）の三つの原色を混ぜて幅広い色を再現する加法混色の一種であります。

デジタルカメラなどで撮影された画像、あるいはパソコンのディスプレイ上に表現される色は光の発光を利用して色を表現（加法混合法）するRGB形式ですが、塗料（絵具）ではRGB形式で全ての色の表現が出来ない為、印刷する場合はCMYK形式への変換作業が必要となります。

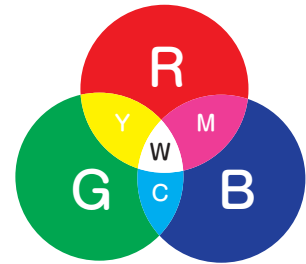
CMYK形式とはC（シアン）、M（マゼンタ）Y（イエロー）から発生した色の表現法で「色の三原色」といわれております。理論上ではCMYによって全ての色を表現できますが、実際にはCMYのインクを混色して綺麗な黒色を表現するのは技術的に困難なため、プリンターなどの印刷機で黒色をより美しく表現する目的としてCMYK（Bk・ブラック）が採用されています。

私たち印刷業では、このC（シアン）、M（マゼンタ）Y（イエロー）、K（Bk・ブラック）を駆使し、微妙な色合いやより自然な感じ、はっきり、くっきりとした色合いを出しているわけです。

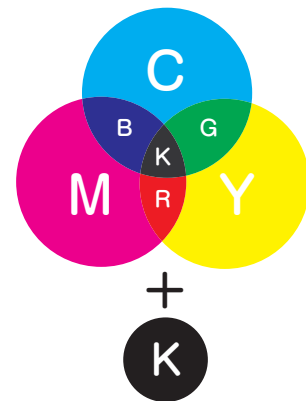
デジタルカメラなどで撮影された画像などを印刷にした場合、このRGB形式をCMYK形式に変換するので、色の鮮やかさが若干鈍ってしまうのは致し方ないのも事実なのです。また、金色・銀色・白色（ベースが白いもの以外に白色を印刷したい時）は特色と扱われ、5色印刷となる場合もあります。

このように「色」は、1色でも作品ひとつ、ひとつに大きな影響を与えてしまうこともあるといっても過言ではないと思います。

「光の三原色」RGB形式



「色の三原色」CMYK形式



C・M・Yをたしたり、ひいたりして赤・緑・青・紫・橙・茶等の色を作り出しています。

2月3日は節分の日

節分！？ 何それ？

あっ！豆まきでしょう「鬼は外、福は内」って楽しいよね！

と、うちの子は言うが…はたして、ちゃんと子供に節分の説明が出来るかな？

「鬼は外、福は内」とまく豆、ちゃんと炒る豆を使っていますか？大豆には霊的な力が宿ると信じられており神様へのお供え物としても使われています。もし拾い忘れてしまった豆から芽が出てしまうと縁起が悪いためで、「炒る」が「射る」にも通じている事から炒ってから大豆をまくそうなんです！知ってた？

じゃあーなんで2月3日なの？

季節の移り変わりの立春・立夏・立秋・立冬、特に立春は1年の初めと考えられる事から立春の前日に邪気を祓い新しい年(春)を迎えようと言うことで一家の幸せを願う行事なのです。

このイベントでは誰が主役？

何とんでも年男、年女！あと厄年の人、そんでもって一家の主人が適任です。家族全員参加で豆をまいて、まいて、まきまくれ！鬼を追い出したら各自、自分の歳の数だけ豆を食べるとその年は病気にならず長生きすると言われていたそうですよ。（おじいちゃん、おばあちゃんには気の毒な話だ…）そうそう最近じゃ豆以外にも一気に太巻きを食べるあれ！！あれも老人には過酷な行事だと思うけどあれってどうなの？

あれ＝恵方巻きの事ね！

恵方巻きとはもともと関西地方で商人の間で商売繁盛を願って食べるというもので、景気付けの意味合いが強かったようです。食べ方はその年の恵方に向けて願い事をしながら黙々と全部食べるの！（ちなみに今年は西南西）食べている途中でおしゃべりをする福を逃してしまうので注意。もちろん1人一本の巻き寿司なので切るのはNG、縁が切れちゃいます。今ではメディアやコンビニなどの流通業界の影響もあり、全国的に広がり私たちの住んでいるここ東北でも珍しくないのではないのでしょうか、今年の節分は元気に鬼はそと一、福はうち一！ってね！



「私と食事」

正月休み中のたたりか、また体重増の兆しが見えて来たようでダイエットし、体を絞り込み“余分3兄弟”と縁切りを図ろうと思っはいるものの実行となると……？

ここ最近話題に上がる「B級グルメ」なるもの全国的にコンテスト等が開催されているようです。TVからの情報ですが山形県村山西部の郷土料理「ひっぱりうどん」といった乾めんがあり、これはいわゆる釜上げうどんをサバ水煮缶・納豆・ネギをあえたものをつけめん感覚でいただきます。諸説によると「ひっぱり」の意味は鍋からうどんを引っ張るから、納豆の糸を引くから等の説があるようです。内陸部で、冬が厳しい山形県では非常時に備え家庭では保存食として乾めんや缶詰を常備していたとの事です。超簡単な料理でしかも体が温まります。また、アウトドア料理としても楽しめますので一度ためてください!!

工務課 岸

自分は何より食べる事が大好きです。母親に生前よく言われていた『出された物は全て食べなさい』を守り続け、特に甘い物を好んで食べていました。

今は麺類が一番の好物で、ラーメン・そば・うどん・パスタ等麺類なら何でもOKです。

つい最近では山形へ仕事で行く機会があり、そこで食べた『そばの一庵』と『味噌ラーメンのとなん』がとにかく美味しく、山形へ行った時にはまた、是非寄って食べなおしてみたいと思うくらいです。



そんな私は入社した当初60kgだった体重が今はなんと80kg台まで増えてしまい『メタボ』などと言われてます。食べる事が大好きな自分ですが我慢して今年中には60kg台とは言いませんですけど70kg台前半位までには体重を落とす様に食事制限と運動を頑張って行きたいと思っています。

営業課 渡辺

寄稿文

ベガルタ仙台 ことしは J1だあ〜!!

皆様もご存知のとおり、ベガルタ仙台は、昨年二度目のJ1昇格を果たしました。

11月8日、水戸での **J1昇格**、12月5日 **J2初優勝**、12月29日 vsガンバ大阪、敗れはしたものの **天皇杯ベスト4!** の試合に立ち会うことができ、2009年、ベガサポ9年目の私には最高の年でした。

今年はいよいよJ1での戦いがはじまります。まだ補強選手にしても超目玉の報道もなく、厳しい戦いになるだろうと不安はいっぱいですが、あのユアスタに、宮城スタジアムに、日本代表選手はもちろんスター選手、イケメンJリーガーが毎試合やって来る事を考えるだけでも **ワクワク、興奮しちゃいます!!**

みなさん！仙台がJ1に昇格を果たした機会に、一緒に応援しませんか!! 楽しいですよ〜 ㊦



2009.12.29
国立競技場に集まったベガサポ

2009.12.29 天皇杯準決勝
50台を超える応援バス



スタジアムでお会いしましょう!!

編集後記

“新年あけましておめでとうございます” 昨年、国外では「チェンジ」の言葉でオバマ新政権が誕生。国内では「政権交代」のフレーズで鳩山新政権が誕生。スポーツの世界でもゴルフの石川遼君の活躍等で新世代による「世代交代」が行われてきました。日常生活では「新型インフルエンザ」が新しい脅威で国内外を騒がせました。年末恒例の京都・清水寺の世相を表す漢字に『新』が選ばれたのも成る程などの印象を持ちました。今年はどうな新しい物が私たちの前に現れるのか期待と不安が交錯します。

その様な中、当社では「創意工夫」を忘れず「業態変革」をしながら、新しい設備やシステムの導入、新技術・新知識を取得しお客様皆様にお届けしたいと考えております。

“本年もどうぞ宜しくお願い致します”



ヒゲズ